



# 海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子  
笑顔と歌声あふれる学校 ～

11月号

令和3年11月1日

さいたま市立海老沼小学校



## 思い出の1ページ

校長 宮本 江津子

正門前花壇のインパチェンス 朝晩、冷え込むようになり、急に冬がやってきたように寒い日が続いていました。ここ数日は、少し暖かくてホッとしています。

学校では、子ども達が持久走を始めました。走るのはあまり得意ではない私も、子ども達と一緒に、4分間走ってみようと思っています。11月19日に延期された運動発表会に向けた練習も、始まりました。今年度は、2学年ずつ一緒に行き、子ども達同士も互いに演技を見合うことができるようにしました。その関係もあり、保護者の皆様には、児童1人につきお1人の参観をお願いしています。御理解と御協力の程よろしく願いいたします。

10月13日には、PANNOTE MAGICによるスティールパン・オーケストラの演奏を聴きました。「スティールパン」とは、カリブ海に浮かぶトリニダード・トバゴというところで生まれた、ドラム缶で作られた音階のある打楽器でした。その音色は、「これがドラム缶の音なのかしら？」と思うほど、柔らかく美しい音色でした。全校児童が生演奏を目の前で聴くことができ、子ども達もわくわくしながら楽しんでいました。心に潤いを与える時間となりました。

そして、穏やかな秋晴れの中、10月14日から1泊2日で、6年生が日光へ修学旅行に行つて来ました。行けるかどうか、ずっと心配していた6年生の修学旅行……。今年の6年生は、昨年、館岩自然の教室へ出かけることができなかつた学年でしたので、実現することができて、本当によかったなあと思っています。

教室で学ぶことも、もちろん大切ですが、実際に経験しながら、体験を通して学ぶことは、代えがたいものだ、と6年生を見ていて感じました。華厳の滝、中禅寺湖の遊覧、戦場ヶ原ハイキング、目の前に現れた湯滝、源泉を見学し、夜は温泉に入りました。たくさんの自然の美しさ、雄大さを体験しました。翌日は、竜頭の滝の脇を下り、いろは坂を下りて東照宮の見学をしました。歴史とその建物に秘められたたくさんの話や鳴き龍の声を聞き、実際に見て聞いて学んで来ました。それだけではありません。集団で公の場所に出かけて行ったことで、マナーや自ら考えて行動することの大切さも学びました。バスの中は、もちろん無言です。行きも帰りもDVD鑑賞とガイドさんによる車窓から見える景色の説明を聞く時間となりました。行きは、「小さな声でおしゃべりしているからいいということではありませんよ。」と担任の先生から注意をされることも何度かありましたが、帰りは、先生に注意されることは、ありませんでした。華厳の滝の見学の際、遊覧船に乗船中や乗り降りの際、「周りの人のことを考えて行動しているかしら？」と時折、心配になる場面もありました。宿泊先での夕飯の時、朝ご飯の時、小さな声でおしゃべりが聞こえました。そして、2日目の昼食の時……。おしゃべり声はまったくなく、先生方が注意のために席を立つことは一度もありませんでした。渋滞に巻き込まれ、帰りのバスの乗車時間が1時間長くなってしまいましたが、帰校式での態度も大変立派でした。私が6年生の前に立つと、全員がしっかりと顔を上げて私と目を合わせ、話を聞いていました。

たった2日間で、こんなに成長することができるんだ！なんてすばらしい6年生なんだろう！この経験があったからこそ、様々な学びをすることができたのだと、修学旅行が実現できたことに、本当に感謝しています。

ご家庭内みなさまでの体調管理や準備等、たくさんのご協力をいただき、本当にありがとうございました。子ども達にとっても最高の思い出の1ページになったことでしょう。

今後、他の学年も、校外学習や遠足に出かける予定です。楽しい思い出とともに、たくさんのことを学べるだろうと、楽しみにしています。